

平成28年12月14日

議会報告会報告書

天童市議会議長 様

代表者 石垣 昭一
記録者 遠藤 喜昭
班 員 後藤 和信
" 遠藤 敬知
" 笹原 隆義



議会報告会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成28年11月10日（火）午後7時～午後8時30分	
2 会 場	干布地区公民館	
3 欠 席 議 員	なし	
4 参 加 者 数	4名	
5 報 告 内 容		
6 意見交換の内容	意見等	当日の回答
	市民 議員の仕事とはどのように捉えているか新人の笹原議員にお聞きしたい。(1)	笹原 行政のチェックと市民の声を反映させること。その為に必要な勉強をしていく。
	市民 議員の花形である一般質問は全議員がすべきであると思うが、一般質問しないのは意識が足りないのでは。(2)	議員 質問できない議員が3名いる。(議長、副議長、監査員)一般質問は議員個人の考えで「やる」「やらない」を判断している。議員個々の資質の問題。
市民 人口減少が進む中で対策を真剣に考えているのか。世代間で考え方がかなり違っていたり、農地に家を建てたくてもできない等が問	石垣 天童市都市計画審議会では都市計画区域、調整区域、農業振興区域と区別しているが、これを撤廃してはという話がでていた。私の住んでいる寺津小学校は来年から複式学級になるという現実も	

	<p>題に上がっている。若者が地元で定住できる政策があるのか。各議員の考えをお聞きしたい。(3)</p>	<p>あり、中央だけ開発されるのではなく、均衡のとれた開発を望んでいる。</p> <p>遠藤喜 間違いなく人口は減っていくと思う。これまでの子育て支援だけでなく、若者が定住でき、子供を産み育てられる環境を行政、地域コミュニティーそれぞれで見つけて行動していく事が大切。</p> <p>遠藤敬 人口減少は避けられない。行政を頼るだけでなく、地域で考え行政と協力して行動していく時代になった。中央だけが発展するのではなく、周辺にある農村を含めた中で、均衡ある発展を目指すべきである。</p> <p>後藤 自分の住んでいる泉町はここ10年で40軒程増えている。芳賀地区の開発で、比較的安価であった為に周辺の地価が安くなったことが要因か。周辺部でも、道路沿いの空き地を宅地活用できるよう進めていくべき。</p> <p>笹原 人口減少を抑えるには、他の予算を削ってでも誘致企業や二世帯住宅等への税制優遇や補助等が必要と思うが、現実には難しい。先進地を見習い進めていくことが重要。</p>
--	--	--

	<p>市民</p> <p>アメリカ大統領選挙についてトランプ氏が選ばれたが感想が聞きたい。(4)</p>	<p>笹原 対日本で考えれば残念。TPP問題、安保についてすごく不安を覚える。</p> <p>後藤 イギリスの国民がEU離脱を選択したこととアメリカ大統領選挙はまさかという驚き。選挙期間中の過激な発言と大統領就任後の言動は必ずしも一致するとは思わない。対話を重ねていく事が大事。</p> <p>石垣 貧困の格差による結果。変革をしてくれる人を選んだ。対日本については注視していきたい。</p> <p>遠藤敬 これまでの政策で結果に満足していない結果。暴言の中にも、アメリカ国内や国際社会の真実が隠されていると思う。</p> <p>遠藤喜 基本的に国を守ることは自国でやるという意識を持つべきと感じた。経済は減退していくようで、不安が募る。</p>
	<p>市民</p> <p>議員としてしっかりと働いていただき、企業誘致や定住環境の整備等、住みやすい天童市を作ってほしい。(5)</p>	<p>議員</p> <p>しっかりと受け止め、頑張っていきます。</p>
	<p>市民</p> <p>里山の保全と産業創出の観点から、天童市でもバイオマスなどの事業をやってみては。(6)</p>	<p>議員</p>

8 所 感	<p>4名という参加人数であったが、議会報告後は座談会のような形態で進行。和やかな雰囲気で行進できた。</p> <p>干布地区では「夢を語り合う」事業を行っており、実際の生活の中での問題点や改善点等が上がっている。これからの推移を見守り、これからのコミュニティーづくりの手本になればと願う。</p>
-------	---